

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】平成27年4月2日 (2015.4.2)

【公表番号】特表2014-523751(P2014-523751A)
【公表日】平成26年9月18日 (2014.9.18)
【年通号数】公開・登録公報2014-050
【出願番号】特願2013-555592(P2013-555592)
【国際特許分類】

A 6 1 F 2/44 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 F 2/44

【手続補正書】

【提出日】平成27年2月6日 (2015.2.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

面および境界面を有するインプラントを備え、

前記面が、第 1 の骨部分の形状を実質的に補完する形状であり、前記境界面が、締付け具部材を受けるように構成され、

前記インプラントが、前記締付け具部材で固定されるように構成され、それにより、前記インプラントが前記締付け具部材によって固定された後、前記第 1 の骨部分および第 2 の骨部分が互いに癒合することを特徴とする装置。

【請求項 2】

前記面が第 1 の面であり、前記インプラントが、前記第 2 の骨部分の形状を実質的に補完する形状の第 2 の面をさらに含むことを特徴とする請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

前記面が第 1 の面であり、前記インプラントが、前記第 2 の骨部分の形状を実質的に補完する形状の第 2 の面をさらに含むことを特徴とする請求項 1 に記載の装置。

【請求項 4】

前記境界面が第 1 の境界面であり、前記インプラントが、骨移植片を受けるように構成された第 2 の境界面をさらに含み、前記第 1 の骨部分および前記第 2 の骨部分が、前記骨移植片を介して互いに癒合することを特徴とする請求項 1 に記載の装置。

【請求項 5】

前記面の表面が粗面または多孔質であることを特徴とする請求項 1 に記載の装置。

【請求項 6】

前記境界面が、前記面の実質的に中心に配置されることを特徴とする請求項 1 に記載の装置。

【請求項 7】

前記境界面が第 1 の境界面であり、前記インプラントが、不規則な形状を有する第 2 の境界面をさらに含むことを特徴とする請求項 1 に記載の装置。

【請求項 8】

前記境界面が第 1 の境界面であり、前記インプラントが複数の第 2 の境界面をさらに含み、前記複数の第 2 の境界面からの第 2 の境界面がそれぞれ、前記面の中心の周りで実質的に等距離のところに配置されることを特徴とする請求項 1 に記載の装置。

【請求項 9】

締付け具部材と、
前記締付け具部材を受けるように構成された境界面を有するインプラントと、
を備え、

前記締付け具部材が、前記インプラントを第 1 の骨部分および第 2 の骨部分に固定するように構成され、それにより、固定後、前記第 1 の骨部分および前記第 2 の骨部分が互いに癒合することを特徴とするキット。

【請求項 10】

前記境界面が、面の実質的に中心に配置されることを特徴とする請求項 9 に記載のキット。

【請求項 11】

前記境界面が第 1 の境界面であり、前記インプラントが、不規則な形状を有する第 2 の境界面をさらに含むことを特徴とする請求項 9 に記載のキット。

【請求項 12】

前記境界面が第 1 の境界面であり、前記インプラントが、骨移植片を受けるように構成された第 2 の境界面をさらに含み、前記第 1 の骨部分および前記第 2 の骨部分が前記骨移植片を介して互いに癒合することを特徴とする請求項 9 に記載のキット。

【請求項 13】

前記締付け具部材が可撓性の締付けバンドであることを特徴とする請求項 9 に記載のキット。

【請求項 14】

前記インプラントが面を含み、前記面が粗面または多孔質であることを特徴とする請求項 9 に記載のキット。

【請求項 15】

前記インプラントが、前記第 1 の骨部分の形状を実質的に補完する形状の面をさらに含むことを特徴とする請求項 9 に記載のキット。